

平成 28 年度 中小企業診断士 第 2 次試験
 中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ 【解答速報】

第 1 問 (配点25点)

(設問 1)

	(a)	(b)
① 売上高総利益率		48.62 (%)
② 固定長期適合率		147.36 (%)
③ 有形固定資産回転率		1.77 (回)

(設問 2)

前	期	に	出	店	し	た	創	作	料	理	店	の	固	定	客	獲	得	が	不
十	分	で	本	業	の	収	益	性	が	低	下	し	た	。	土	地	取	得	の
資	金	源	が	未	確	定	の	た	め	短	期	借	入	金	で	調	達	し	、
土	地	は	未	利	用	で	あ	る	。										

第 2 問 (配点35点)

(設問 1)

(単位：百万円)

税引前当期純利益	39
減価償却費	(36)
減損損失	56
営業外収益	(△8)
営業外費用	(20)
売上債権の増減額	(△1)
棚卸資産の増減額	(△3)
仕入債務の増減額	(3)
その他	13
小計	(155)
利息及び配当金の受取額	—
利息の支払額	△4
法人税等の支払額	△35
営業活動によるキャッシュフロー	(116)

平成 28 年度 中小企業診断士 第 2 次試験
 中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ 【解答速報】

(設問 2)

①

		土地				建物・器具備品			
(a)		当初投資		6 年後売却価値		1 年後の投資		6 年後売却価値	
		金額	現在価値	金額	現在価値	金額	現在価値	金額	現在価値
		-320	-320	320	226	-470	-443	375	264
(b)		投資額の PV = $-320 \times 1 = -320$ 売却額 = 320 ※PV : 現在価値 売却額の PV = $320 \times 0.7050 = 225.6$				投資額の PV = $-470 \times 0.9434 = -443.398$ 売却額 = $470 - (14 \times 5 + 5 \times 5) = 375$ 売却額の PV = $375 \times 0.7050 = 264.375$			

②

(a)	69 百万円
(b)	求める増加額 (x とする) の現在価値合計 = $(320 + 443) - (226 + 264) = 273$ 百万円 x は毎年均等に生じるため、次式が成り立ち、x が求まる。 $x \times (4.9173 - 0.9434) = 273 \quad x = 68.6 \dots \div 69$ 百万円

第 3 問 (配点 15 点)

(a)	貢献利益 = 限界利益 49 - 個別固定費 40 = 9 百万円
(b)	貢献利益が正なので閉店すべきでない。閉店すると貢献利益 9 百万円を失い、同額の全社利益を失ってしまう。

第 4 問 (配点 25 点)

(設問 1)

営業時間外での予約受付やネット上の露出で	客数増による収益増が生じる一方、システム
利用料と管理の複雑化による管理費が生じる。	

(設問 2)

	(a)	(b)
①	860 百万円	変動費率 = 0.5 損益分岐点売上高 = $430 \div (1 - 0.5) = 860$ 百万円
②	18 百万円 (低下)	変動費率 = 0.494 変動額 = $(430 - 12 \times 2/3 + 20 \div 5) \div (1 - 0.494) - 860 \div -18$ 百万円
③	10 百万円 (低下)	変動費率 = 0.494 変動額 = $430 \div (1 - 0.494) - 860 \div -10$ 百万円